

SSKP つくしんぼの
会報誌

つくつく通信
No.59

「つくしんぼ」はハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

編集～「フリースペースつくしんぼ」 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468

一学期を終えて

バタバタしているうちに一学期もアツという間に終了。4月からの新人メンバーたち(1,2年生)も、つくしんぼの環境になれ、すっかり我が者顔の今日この頃です。

さあ夏休み、夏バテするのは職員だけ???



通学の途中で

新年度が始まったばかりの1学期、この時期は幼稚園、保育園から卒園してきた黄色い帽子の小学1年生たちからよく質問を受けます。(私は地域の心障学級に通う息子の送り迎えをしているので、通学路で出会うのです)

「なんで、〇〇くんはおしゃべりしないの?」「ほくたちと同じ教科書なの?」「〇〇くんは体が弱いんだよね」「なんで小学生なのにお母さんと歩いているの?」などなど……。

何のためらいもなく素直に疑問を投げかけてくる1年生たち。息子がこの子どもたちと同じ小学1年生の時は、私はまだ精神的に弱くて、これらの質問に答えることができませんでした。しかし、息子が高学年になった去年くらいからは、障がいのことをわかってもらえるよい機会と思えるようになり、よく彼らと話します。

「おしゃべりしないのはなんて言っているかわからないからだよ。みんなが声をかけても応えないことがあるけれど、無視しているわけではないんだよ」「同じ教科書を使う時もあるし、もう少し簡単な本を使う時もあるよ。みんなよりゆっくりわかっていくんだよ」「車が近づいてきてもよけられないことがあったり、家に帰る途中で別の所へ行きたくなくなってしまうことがあるんだよ。それでお母さんと一緒に歩くの」

質問に答えながら「これって一般の大人でもわからないことかもしれない。1年生だから躊躇せず質問してくるけれど、大人は傷つけてはいけないという気持ちから目をそらしてしまうことが多いかも」と思いました。実際5年前の私にはつらかった質問……。しかし話すことによって応援してくれる仲間ができる。そう思えるようになってから、これが私の役割だと思って話しています。

かつて手とり足とり面倒をみてくれていたクラスメートは、息子の得意、不得意をすっかり知っていて、離れたところから見ていてくれます。とまどっている時には声をかけてくれるといった良い関係ができています。

つくしんぼの庭で

今年もつくしんぼの庭に近所の1年生が遊びに来てくれるようになっています。

「遊んでいいですか?」最初はためらいがちに入ってきた健常児の1年生。でも何回か来ているうちに、すっかりおなじみさんの顔になります。つくしんぼの室内に、メンバーの子どもたちの顔写真が並んでいるのですが、それを見て「なんで私の写真がはってないの?」と自分のがないのがとても不満の様子。

つくしんぼの子どもたちは一見して無関心風。が、「木のぼりしよう!」と声をかけられ、いつのまにか一緒に木の上にとりかかります。(なぜか木の上で麦茶を飲んでバナナを食べるようになってしまっています。(´o`)) とにかく、同年代の子どもの影響力に驚かされます。

不思議な環境のつくしんぼの雰囲気に戻込みてしまい、自分から入っていくことが難しい子も多いので、つくしんぼに来て一緒にいてくれる子の存在はうれしいです。



今回のキッズタイムは小学6年生になってますます元気いっぱいのユウキくんです。お母さんにお話ししていただきました。

『我家にフクが来た』

我家に大きな変化が2つありました。

1つは私がパートに出始めたこと。障がいを持つ子どもがいると、長い休みがネックになって、なかなか行けないのですが、必要にせまられて・・・思いきって始めました。

もう1つは家族が1人(1匹)増えたこと。去年の7月、つくしんぼの音楽でお世話になっている小林先生のところからかわいい女の子をいただきました。

最初は乗り気でなかった主人も一目見るなり名前は「オードリー」がいい!でもユウキの「フクちゃん」の一言で決まり。以来、家の中は「フク」中心。

ユウキもフクが大好きで、私の休みの時は、学校へもいっしょに行き、先生みんなに紹介して、すっかり「お兄さん」気分。図工の時間も、自分から家族としてフクの絵を描いたりして……。図工大嫌い

人間だったユウキが自分から「フクちゃん」の絵を描きたいと言ったそうで、母はビックリ。おまけに「描いたから見に来て」と言われた時は「うれしい」。

留守番もできる様になって、カギを持たせてみると、なんと立派な「カギ男」に変身。朝も自分1人の時はカギをかけて学校へ行けるようにもなりました。今では、散歩に行きウチもきちんと拾って来ます。母の知らない犬友もたくさんできて、ちょっと頼もしく見えてきたりして。

「フク」は我家にとって「福」だったのかなあ～。いたずらでおてんばだけれど、ユウキにとって、かけがえのない親友、家族で我家の二女! これからもよろしくです。



土曜活動 いざスタート!!

今年度から始まった学校の完全週休2日制。つくしんぼでも少しは何か考えなければ、ということで、月に1度、実験的にはありますが、土曜活動をやってみようということになりました。

しかし、そうすると職員の負担がますます増えてしまい……。だからといって、親子活動にしてしまうのも……。

と、いろいろ方法を模索していた時に、

とってもうれしい助っ人軍団(?)が現れてくれました。

彼らは、法政大学現代福祉学部のサークル「PUREPURE」の皆さんです。テニス&ボランティアというなんとも学生らしい(?) 奇妙なカップリングのサークルですが、つくしんぼ夏の大地沢一泊も企画の段階からいろいろ考えてくれ、頼もしい限り。

PUREPUREのホームページは
<http://www.h5.dion.ne.jp/~ymymymd/>
一度覗いてみて下さいませませ。(ˆoˆ)



4月からつくしんぼの職員として入らせてもらっています、越村です。

私は以前、障がいのある子を対象とした施設でボランティアをさせてもらっていたこともあり、そういった施設で働くことが夢だった私にとっては、つくしんぼの職員になれたことはとても幸運でした。本当に偶然で職員になったようなものだし……。

7月でつくしんぼでの生活も3ヶ月が経ちますが、つくしんぼの子ども達との付き合いは、まだ3ヶ月? もう何年も一緒にいるような気がしてならないけどなあ。

私が最初につくしんぼに抱いた感想を一つ。「なんて地味な活動をしているんだろう」と。なぜなら、私が初めてつくしんぼにボランティアに来た日は子どもが3人しか来ておらず、みんなでひっそりと

コタツにあたっていたからです。しかも、はずかしがり屋のミユキちゃんには全く相手にしてもらえず、カスミちゃんは「赤信号は止まれー」とコースターに色を塗りまくり、ヒロキくんは別室にこもってなんとも近寄りがたいオーラを飛ばしながら、ビー玉に没頭して遊んでいました。そして、ヒロキくんと遊ぼうとしてビー玉に触った私は案の定、ど突き回されてしまいました。まあ大変。

でも、次につくしんぼに来た時にはヒロキくんと遊べたのでホッとしました。ヒロキくんが口ずさんでいた歌を私が知っていたこともあり、一緒に手をつないで歌うという仲良しぶりを発揮。つくしんぼの子ども達と仲良くなるのは難しいと思ったのは間違いのようでした。それにしても、なんとも気まぐれな彼ら。

ボランティアの初日の静けさには驚いたものの、4月から小学1、2年生の元気な新メンバーが4人加わり、最近はとても賑やかです。私はよくつくしんぼでの生活を友達に話すのですが、みんなとても羨ましがってくれます。しかも爆笑つきで。

つくしんぼのみんなへ...毎日、面白いことをしてかしてくれてありがとう。すごく自慢です。

つくつく通信の裏表紙

えー、つくしんぼの代表である私めの、本当に勝手なる私事だったりするのですが……。

9月の初旬あたりまでに、私の書いた小説が出版されることになりました。(^^;

タイトルは『ぼくはうみがみたくなりました』です。自閉症の青年クンと看護学校に通う女子学生サンの一泊二日のロードムービー風なるホンワカ物語です。あ、別にラブストーリーではありません。

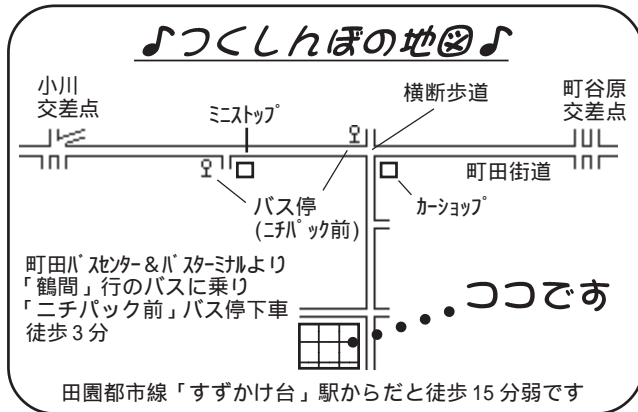
(それだと嘘臭くなるし……。(^;))

自費出版じゃありません。そんなお金はありません。福祉関係者であればみんなが知ってる、あの天下の「ぶどう社」からの出版です。

ぶどう社の本をご存じの方は、なんでぶどう社が小説を出すの? と不思議に思われるかも知れません。でも、読んで頂ければ、その理由がわかると思います。

ただ、ぶどう社は福祉の分野では有名なんですけど、社長の市毛サン曰く、「大手出版社と肩を並べられる規模じゃあないんだよ…」とのこと。(なんせ社員が3人。(^^)) そんなわけで、ご近所の本屋サンに並ぶことはまずなさそうです。注文しないと手に入らないようで……。

というわけで、ご近所の皆様には、私がコツコツ売り歩こうかな、なんて思っておりますので、もし買って下さるとい嬉しい方は、つくしんぼの山下の方までご連絡下さい。m()m



「ささえる会」ご入会・ご更新ありがとうございました

佐藤様、新卓様、つくし野伝道所様、荒木様、川上様、田口様、福井様、鈴木様、堀内様、高橋様、木下様、竹田様、小林様、金森様、谷沢様、井上様、刈屋様、斎藤様、猪俣様、浅川様、斉藤様、井上様、山田様、萩村様、中村様、清水様、峯岸様、長谷川様、松谷様、宇佐美様、岡村様、福田様、石寺様、阿部様、柴田様、宮島様、松山様、松見様、中西様、池沢様、小野様、坂本建設工業様

「ボランティア」ご寄付ありがとうございました

福井様、小林様、高尾様、林様、川本様、三箇山様、川崎様、堀内様、重松様、佐藤様、栗田様、山口様、廣田様、水沼様、若林様、森田様、渡邊様、甘利様、池端様、泉山様、松本様、山田様、佐々木様、角様、中曽根様、渡辺様、曾我様、大垣様、青木様、山岡様、菊田様、山下様、石寺様、サイドバイサイド町田ボランティア様、東京善意銀行様、オリンパス労働組合プロモーターケイティンング支部様、東京都共同募金会様

(5月、6月)

つくしんぼをささえる会 ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子ども達の放課後活動の場として活動しています。96年5月に開所し、現在は補助金を頂いていますが、運営面で苦しいのが現状です。

もしよろしかったら「ささえる会」の会員になって頂けませんでしょうか。年会費2000円(一口)をお願いしております。

会員の皆様には、この会報「つくつく通信」を送付させていただきます。よろしく願いできましたら幸いです。

郵便振替口座番号
00120-7-168283
加入者口座名称
フリースペースつくしんぼ